

世界ドーピング防止規程及び 国際基準の改訂について

最終コンサルテーションから世界会議へ

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

企画・教育ユニット シニアマネージャー

山本 真由美

➤ 世界ドーピング防止規程 (World Anti-Doping Code)

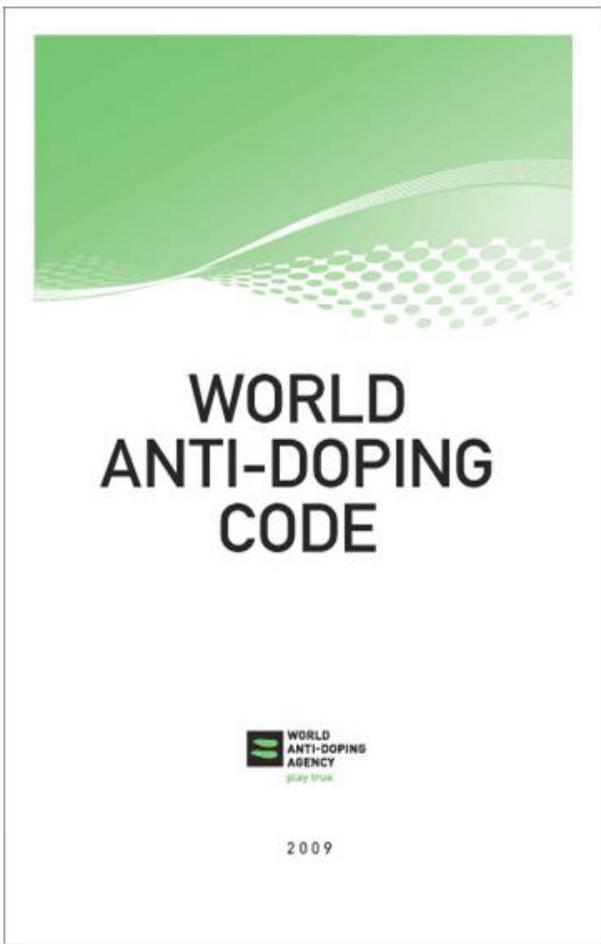
— 2015年改訂に向けて

- コンサルテーション 3回実施
- **Code, 3rd Draft** – WADAが6月中旬に公表予定

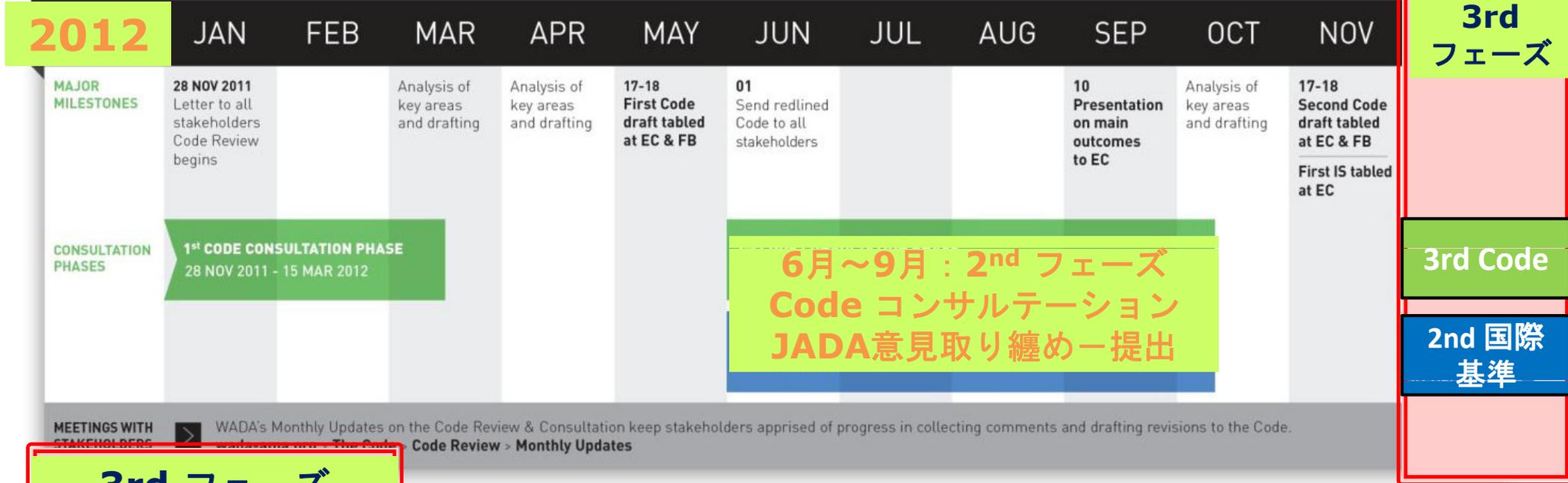
➤ 国際基準の改訂

- Codeに合わせて、コンサルテーション 2回実施
- 国際基準, 2nd Draft – WADAより公表予定

- コンサルテーション
- WADA常任理事会・理事会にて報告
- **2013.11** - アンチ・ドーピング世界会議にて、策定予定



Code Review Plan – 3rdフェーズ & 国際基準



3rd フェーズ

3rd Code

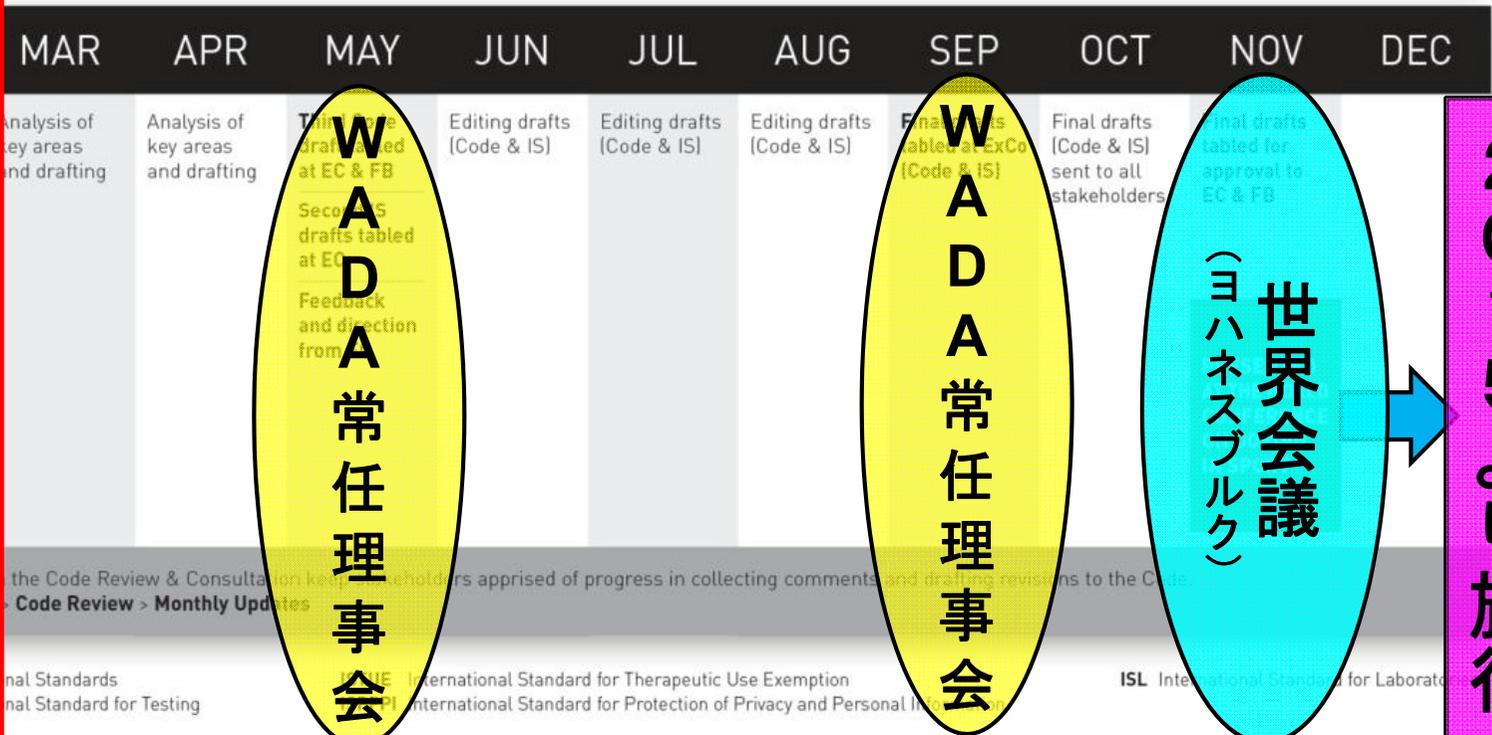
2nd 国際基準

3rd フェーズ

1/27 国内×切
3/1までにJADA→WADAへ

3rd Code

2nd 国際基準



WADA 常任理事会

WADA 常任理事会

世界会議
(ヨハネスブルク)

2015より施行

Code Draft: 重要なポイント

- Code内の要件として、教育プログラムの重要性の高まり
 - “education and prevention”
 - “education” and “information” programs
- 4年間の制裁期間の標準化・恒常化
 - “aggravating circumstances” – 重要な違反に対する4年間制裁の事情を明示